

三滝だより

NO. 258

2022年(令和4年)3月15日発行



はる けはい
春の気配



冬の寒さも和らぎ、少しずつ春の気配が感じられるようになってきま

した。春の花といえば梅や桜を思い浮か

べるかもしれませんが、今回は三滝少年

自然の家・グリーンスポーツセンターや

周辺の里山でよく見られる春の花の「コ

バノミツバツツジ」を紹介しましょう。



コバノミツバツツジ (ツツジ科)

とくちょう
花の特徴



「コバノミツバツツジ」は、ツツジ科の低木(木の高さは2m前後)

で春になると葉が開くより前に紫がかったピンク色の美しい花を咲

かせて春の山を彩ります。枝先に3枚ずつ葉

がつくことから「三つ葉ツツジ」と言われ、し

かも小さい葉のため「小葉の三つ葉ツツジ」と

名前が付けられたようです。花言葉は「節制」

「平和」「自制心」と言われています。



ミツバツツジの仲間について



枝先に3枚ずつ葉がつくミツバツツジの仲間は全国にたくさんあります。東日本ではミツバツツジやトウゴクミツバツツジなど。また、西日本ではサイゴクミツバツツジやトサノミツバツツジなどがあります。

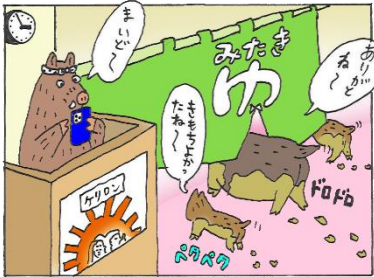
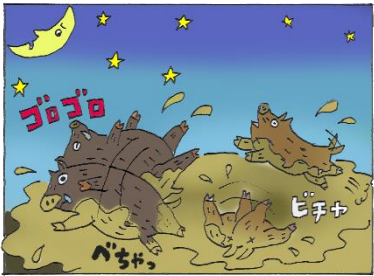
このようにたくさんあるミツバツツジの仲間を見分けるポイントは何だと思いますか？

まず、真っ先にあげられるのは葉の大きさです。コバノミツバツツジの名前も、ミツバツツジよりも葉の大きさが小さいことに由来しています。次に花です。花をよく見ると花びらの模様が少し違います。コバノミツバツツジの上側の花びらには、濃い斑点模様がありますが、ミツバツツジの花びらにはありません。そして、もう一つはおしべの数です。コバノミツバツツジは10本ですが、ミツバツツジは5本とはっきりと区別ができます。

コバノミツバツツジは中部地方～九州にかけて生え、西日本でしか見られない花です。みなさんも三滝少年自然の家や身近な里山で春の彩りや香りを楽しんでみてはいかがでしょうか。



イノシシ4コマ
深夜営業! みたきの



イノシシは「ヌタ場」という泥浴び場をつくり、そこで体についた寄生虫を落としたい、体温調整をしたいらしい。人間でいうお風呂に似ているね。

じげんきしや

事件記者ミタッキーがゆく! 三滝の山のデコボコ道の謎を解け!

みたき やま みち なぞ ど

ああつー!ここは地面が掘り返されている!木の根っこが丸見えだ。一体、誰がこんなひどい事を…

デコボコをたどっていくとイノシシ谷に。するとそこには、謎のトンネルが!!

なんじゃこりゃあ!

事件だ!

三滝少年自然の家が長い間お休みしているときも、みんなが来てくれた時のために山道を整備しています。今日もパトロール。おや?誰も通っていないのに階段がくずれています!

いのししぶん

3月15日(火)

発行所
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73-20
広島市三滝少年自然の家
TEL: 082-238-6301 FAX: 082-238-6302
URL: http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/

「こんばんは、お話しかせてくださいー!」

「ウボウ (なあに?)」

「こはあなたのおうちですか?」

「ウボボッ (このおくにるだけ)」

「どうして山道を掘ったりするんですか?デコボコであぶないじゃないですか!」

「ウボッ、フホッ (だって、おなかすいているんだもん。」「はんを探してるんだよ)」

「えっ、こはん?土の中にですか?」

「ウボッ、フヒッ、フホッ、フフッ (木の根っこのやわらかいとこがおいしいよ。あと、ミミズが出てきたらラッキー。春はタケノコが生えてくるでしょ?楽しみだなあ)」

「でもこは子どもたちも通る道ですよ。階段だって整備しているのに!」わしちやつて、困ります!」

「ウボウボッ、フフッ、フフッ、フフッ (ぼくたちだって、生きるために必死だよ。人間はぼくたちの住みかだった山をどんどんけずって建物をたてて。しかたなく山を下りてきたのにそんな言い方ひどいなあ!」

「そうでしたか…。あなた達だけを悪く言つてごめんさ。昔のようにおたがいの暮らしが守られなくなったのはなぜなのか、ぼくたちも考えないといけないですね。」

「フホフヒョッ? (君は人間じゃなくて、鳥でしょ?)」

「あ、そういえばぼく、メジロなんだつた…」

記者ミタッキーがぼうせんとしている間に、ウボリンは暗闇の中に消えていったのであった。 (完)

ウボリン語る!

イノシシの苦悩!

ミタッキー